1. CQ10-2とCQ10-3-1の順を逆にすることをご提案させていただきます。

CQ10-2「ドライバー遺伝子変異/融合遺伝子陰性RAI不応分化癌に対する初回薬物療法後の2治療として多標的分子標的薬は推奨されるか？」

CQ10-3-1「ドライバー遺伝子変異/融合遺伝子陽性のRAI不応分化癌に対する初回薬物療法として選択的チロシンキナーゼ阻害薬は推奨されるか？」

理由

現在の記述は、ドライバー遺伝子変異/融合遺伝子陰性RAI不応分化癌に対する初回薬物療法後の2治療についての記述が先に、ドライバー遺伝子変異/融合遺伝子陽性のRAI不応分化癌に対する初回薬物療法についての記述が後に記載されております。治療の流れに沿う順に記載することで、より明快になると考えております。

また、CQ10-1に「再発/転移性甲状腺癌に対してがんの遺伝子検査は推奨されるか？」の記述があることから、遺伝子検査に関する記述に続いてCQ10-3-1のチロシンキナーゼ阻害剤に関する記述を記載されている方が理解しやすいと考えております。

回答：ご意見ありがとうございます。様々な経緯があり現在の並びになっております。CQ10-3-1以降の流れもありますので、このままで進めさせて頂きます。

1. 表10-3. 甲状腺癌に対する選択的チロシンキナーゼ阻害薬の前向き試験における有効性のセルペルカチニブのデータにつきましては、2023年ESMOにて公表された最新データに差し換えいただくことをご提案させていただきます。

表10-3. 甲状腺癌に対する選択的チロシンキナーゼ阻害薬の前向き試験における有効性より一部抜粋



理由

現在の表10-3におけるセルペルカチニブの有効性のデータは、2020年にNew England journal of Medicineにて発表されました2019年12月16日cut offデータの有効性データを参照いただいております。2023年にESMOにて2023年1月13日cut offデータが発表されており、最新情報提供の観点からもこちらのデータをご参照いただきたく存じます。

回答：ありがとうございます。原則的に査読された論文があるものを優先して引用しています。時に学会発表レベルのデータであっても臨床を変えるような非常に重要なデータの場合には採用することはありますが、今回はそれに当たらないと判断しています。